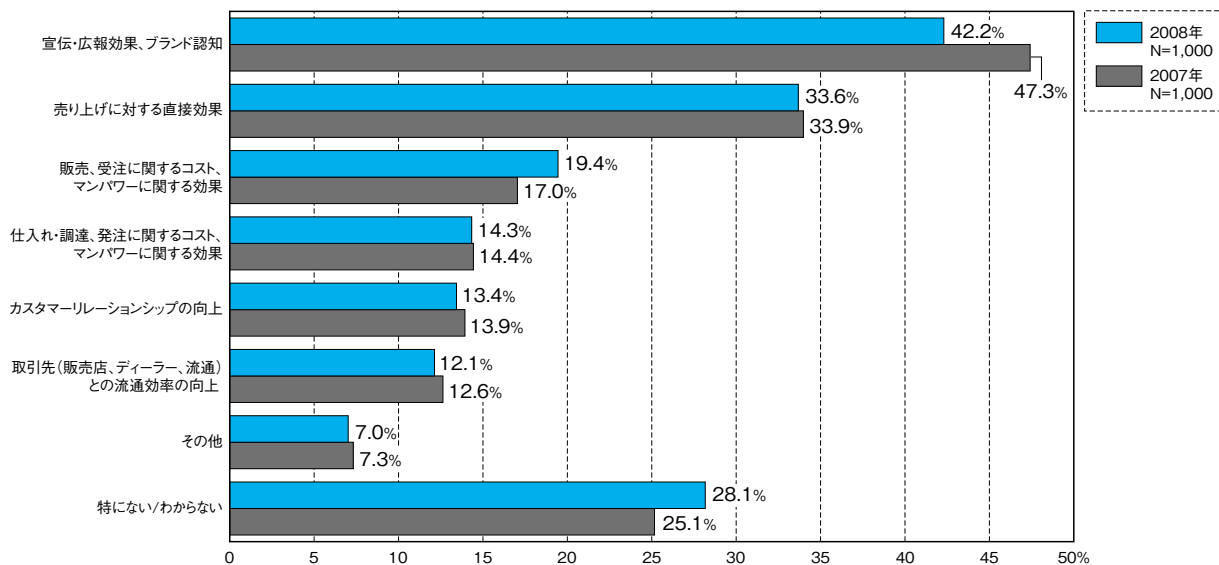


期待効果と課題

■ ウェブサイトの効果は「宣伝・広報効果、ブランド認知」

資料 7-1-53 ウェブサイトの効果(複数回答) [2007年-2008年]

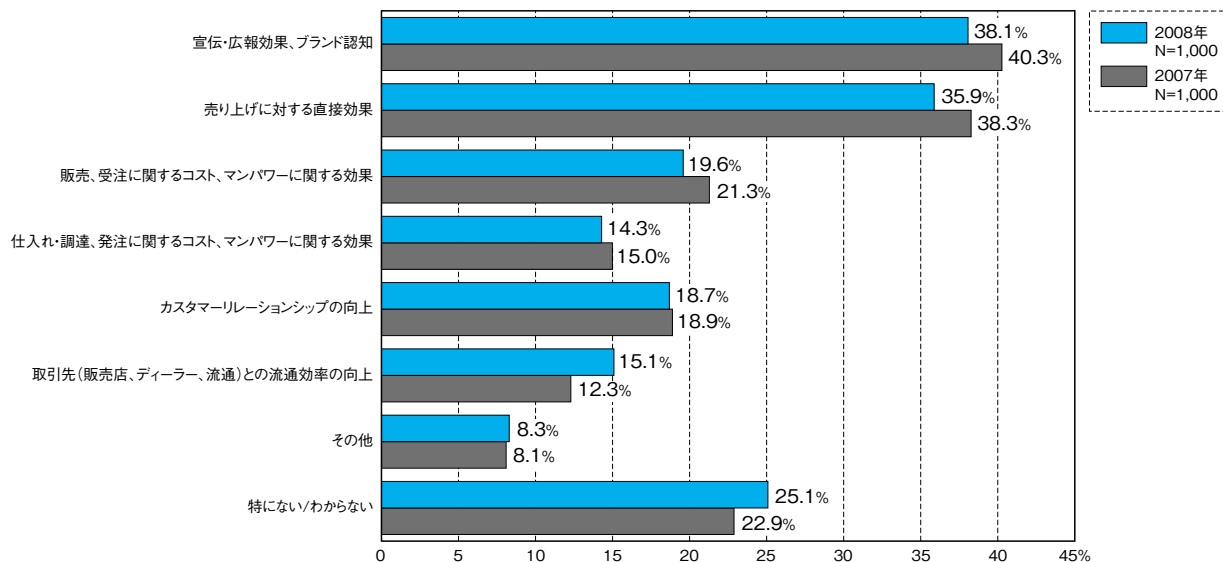


ウェブサイトで感じている効果では、「宣伝・広報効果、ブランド認知」が42.2%で最も高く、次いで「売り上げに対する直接効果」が33.6%である。昨年と比較すると「宣伝・広報効果、ブランド認知」の比率がやや減少しているものの順位に変動はなく、大きな違いはみられない。

©impress R&D, 2008

■ 現状感じているウェブサイトの効果に今後も期待

資料 7-1-54 ウェブサイトに今後期待する効果(複数回答) [2007年-2008年]



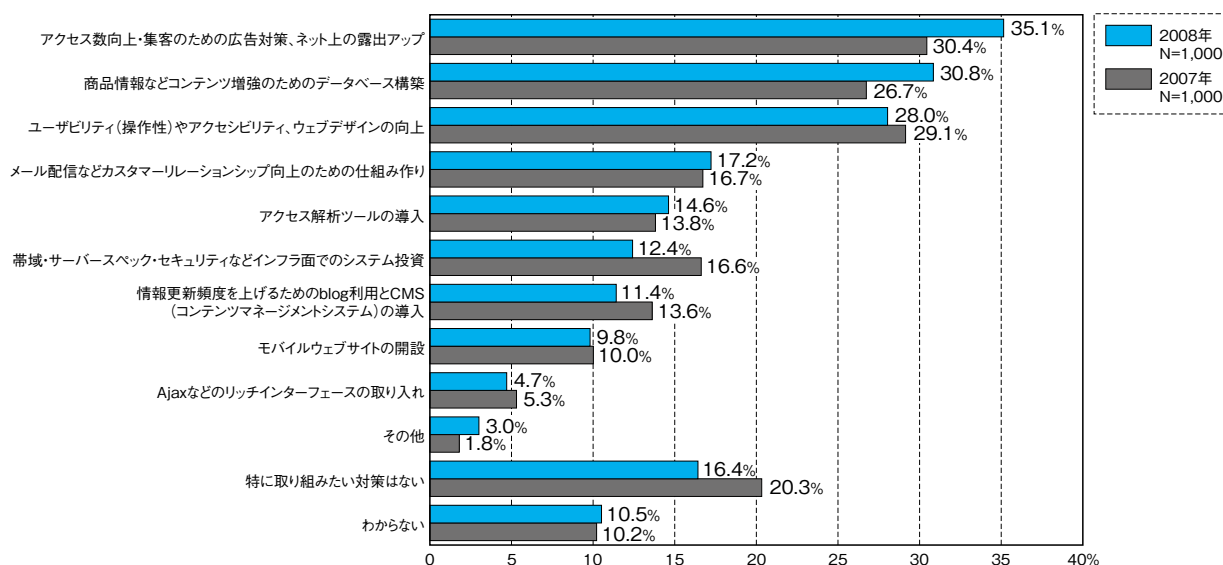
ウェブサイトに今後期待する効果では、ウェブサイトで感じている効果とほぼ同様の傾向にあり、昨年と比較しても大きな違いはみられないが、「売り上げに対する直接効果」への期待は現在感じている効果よりも高い比率である。

©impress R&D, 2008

期待効果と課題

■ 今後取り組みたい技術はアクセス数や集客の向上がトップ

資料 7-1-55 費用対効果を期待して今後取り組みたいウェブサイトのための技術やサービス(複数回答) [2007年-2008年]

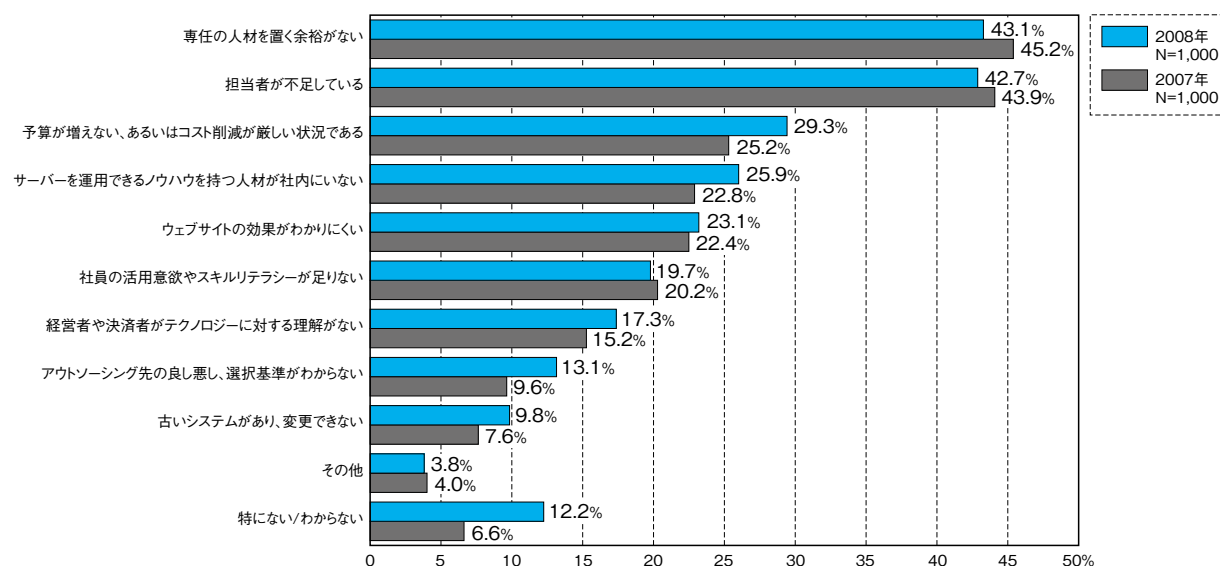


費用対効果を期待して今後取り組みたいウェブサイトのための技術やサービスは、「アクセス数向上・集客のための広告対策、ネット上の露出アップ」が35.1%で最も高く、「商品情報などコンテンツ増強のためのデータベース構築」が30.8%で続いている。昨年と比較しても、上位3項目は同じである。

©impress R&D, 2008

■ 人材に関する課題がウェブサイト活用の障害

資料 7-1-56 ウェブサイト活用の際の障害(複数回答) [2007年-2008年]



ウェブサイト活用の際に障害となっていることでは、「専任の人材を置く余裕がない」が43.1%で最も高く、次いで「担当者が不足している」の42.7%が続いている。昨年と比較して傾向に大きな違いはなく、ともに担当となる人材に関する障害が上位である。

©impress R&D, 2008



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp